

平成 24 年 6 月 27 日
教育振興部光が丘図書館

区立図書館における学校支援について

「練馬区子ども読書活動推進計画（第二次）」に基づき、児童・生徒が、自ら興味や目的意識を持って主体的に読書ができる環境の整備を進め、学校と区立図書館が連携して、発達段階に合わせた事業を展開している。

また、学校図書館の読書センターおよび学習情報センターとしての機能充実のため、図書等の整備を支援している。

1 学校支援事業（区立図書館 8 館）

(1) 環境整備

- ① 図書の選定（廃棄）の助言
- ② 図書の装備、配架、蔵書点検の協力
- ③ 児童・生徒が使いやすい配置の助言・協力
- ④ 図書館利用のための研修協力

(2) 学習支援

- ① 調べ学習や総合的学習に必要な資料の収集・貸出し
- ② 学級文庫用読み物セットなどの資料の収集・貸出し
- ③ 団体登録の勧奨
- ④ 学校支援用図書専用書庫の設置や配送の検討

(3) 読書支援

- ① 学齢毎の支援（1～2年：読み聞かせ、3～4年：本の探検ラリーおよびブックトーク、5～6年：ブックトーク、中学生：本の探検ラリーおよびブックトーク）
- ② 全校で読み聞かせ、ブックトーク、本の探検ラリーを年1～2回実施
- ③ 学齢毎に適した図書の紹介

(4) 図書館利用

- ① 図書館見学
- ② 職業体験
- ③ 連絡協議会

2 学校支援モデル事業

(1) 実施図書館および学校数

- ① 大泉図書館（13校）
- ② 貫井図書館（6校）
- ③ 春日町図書館（8校）
- ④ 南田中図書館（6校）

以上の4館から33校に学校図書館支援員を配置し実施している。

この他、同種の事業として22校に学校図書館管理員を配置している。

(2) 実施内容

各学校が作成する学校図書館運営計画に基づき、以下の内容を実施する。

① 学校図書館支援員の配置

ア 各校に1名を配置

連絡調整のために各図書館に総括支援員1名以上配置

イ 配置時間

1日につき6時間

ウ 年間100日程度（週2日）

② モデル事業の内容

ア 学校図書館支援員による支援業務

○調べ学習の支援

○図書の選定、廃棄に対する助言

○図書の整理（装備、配架、修理、目録の整理、蔵書点検）など

イ 各図書館による支援業務

○学校支援専用図書の貸出し

○図書の定期的な配送

○図書館見学、職業体験の受入れなど

3 学校図書館活性化事業

本年5月に策定した「練馬区教育振興基本計画（平成24年度～33年度）」に基づき、子供の読書活動を推進するため、学校図書館の充実と十分な利活用が行えるよう、学校図書館活性化事業を計画し推進する。